

生研フォーラム
第2回「宇宙からの地球環境モニタリング」
プログラム

日時:平成6年3月10日(木)9:30-18:25

3月11日(金)9:30-18:05

場所:東京大学生産技術研究所第一会議室

港区六本木7-22-1

平成6年3月10日(木) 9:30-18:25

開会の挨拶 (9:30-9:35)

東京大学生産技術研究所所長 原島 文雄

開催の趣旨 (9:35-9:40)

東京大学生産技術研究所 高木 幹雄

セッション 1

人工衛星画像からの地震雲の抽出-宇宙からの地震予知の可能性を求めて(9:40-10:05)

後藤 恵之輔(長崎大学工学部)

大気境界層から自由大気にかけて発生するロール状対流雲は単一なロール渦から成るか?(衛星画像で識別可能か) (10:05-10:30)

三浦 勇一(東京理科大学情報処理センター)

ひまわり画像による雲の分類(10:30-10:55)

細田 龍介・山田 智貴(大阪府立大学工学部海洋システム工学科)

GMS-DATA からみた1993年の冷夏の特徴(10:55-11:20)

渡辺 明(福島大学教育学部)

アジアモンスーンサブシステムとしての秋雨前線の雲分布と大気構造(11:20-11:45)

加藤 内蔵進・平沢 尚彦(名古屋大学大気水圏科学研究所)・松本 淳(東京大学理学部)

PaNDAの現状と将来(11:45-12:00)

下田 陽久(東海大学情報技術センター)

休憩(12:00-13:00)

セッション 2

散乱大気層による探照投光の拡散反射について(13:00-13:30)

上野 季夫・東保 光彦(京都コンピュータ学院情報科学研究所)

マルチスペクトル画像分類のための Hilbert ヒストグラム表現について(13:30-13:55)

鎌田 清一郎・新見 道治・河口 英二(九州工業大学)

Dempster-Shaferの確率モデルを用いた土地被覆分類(13:55-14:20)

細村 宰(金沢工業大学情報工学科)

グローバル GISのための球面分割手法の比較研究(14:20-14:45)

粕谷 昌宏・柴崎 亮介・高木 方隆(東京大学生産技術研究所)

休憩(14:45-14:55)

セッション 3

水域センサーとしての AVHRR, 陸域センサーとしての AVHRR (14:55-15:20)

川村 宏(東北大学理学部)

ネットワークに基づく衛星データセンター構想 (15:20-15:45)

高木 幹雄(東京大学生産技術研究所)・川村 宏(東北大学理学部)・中島 映至(東京大学気候システム研究センター)・沖 大幹(東京大学生産技術研究所)・本多 嘉明(横浜国立大学環境科学研究センター)・梶原 康司(千葉大学映像隔測研究センター)・

ネットワークを利用した NOAA/GMS のクイックルック画像の公開 (15:45-16:10)

沖 大幹(東京大学生産技術研究所)

休憩 (16:10-16:20)

セッション 4

北太平洋中緯度海域における海上風速場の精度評価(16:20-16:45)

轡田 邦夫・南部 諭(東海大学海洋学部)

人工衛星風速データを用いた海面 CO₂フラックスの推定 (16:45-17:10)

久保田 雅久・勇 研壮(東海大学海洋学部)

衛星データから求めた大気海洋間の熱フラックスの変動 (17:10-17:35)

根田 昌典・今里 哲久(京都大学理学部)

客観解析を用いた熱赤外面像欠測域の復元 (17:35-18:00)

久保田 雅久・後藤 隆(東海大学海洋学部)

日本列島周辺海洋乱流場の組織的渦構造 (18:00-18:25)

西村 司(東京理科大学土木学科)・田中 総太郎・杉村 敏郎(RESTEC)・畠山 祐二(アジア航測)

懇親会 (18:35-20:45)

平成 6 年 3 月 10 日 (木) 9:30-17:40

セッション 5

放射伝達シミュレーションから得られた海表面温度推定式の計数値について (09:30-09:55)

丹波澄雄・飯蔵 善和・横山隆三(岩手大学工学部)・高木幹夫(東京大学生産技術研究所)

海表面温度検出における海表面効果発生条件の統計的解析 (09:55-10:20)

今田 正健・相馬 孝志・丹波澄雄・横山隆三(岩手大学工学部)

The Detection of Ocean Wave by EERS-1/AMI Data (10:20-10:45)

杉森 康宏・趙 朝方・秋山 正寿(東海大学海洋学部)

休憩 (10:45-10:55)

セッション 6

人工衛星画像 (Nimbus-7/CZCS) による南極半島周辺地域のクロロフィル濃度の推定 (10:55-11:20)

木村 典嗣・岡田 喜裕・杉森 康宏(東海大学海洋学部)

森林・田畑の植生指数の特性について (11:20-11:45)

堀口 郁夫・王 秀峰・町村 尚(北海道大学農学部)

NOAA/AVHRR データによる補正 NDVI 分布画像の合成(11:45-12:10)

里見 知俊・沢田 迅・横山 隆三(岩手大学工学部)

GVI データによる植生変化と人間活動との関連

日下 遼・足立 隆弘(金沢工業大学)

休憩(12:35-13:35)

セッション 7

地球環境に及ぼす人間活動の影響を考慮した社会経済シミュレーションへの人工衛星データの適用(13:55-14:00)

後藤 真太郎・若林 宏明・千田 裕司(金沢工業大学)

POLDER 多重画像による二方向反射率特性と偏光反射率特性の推定(14:00-14:25)

日下 遼・山上 勝年(金沢工業大学)

陸域航空機 POLDER 画像に対する大気補正アルゴリズムの研究(14:25-14:50)

竹俣 一也(金沢工業高等専門学校)・山崎 明宏・川田 剛之(金沢工業大学)

休憩(14:50-15:00)

セッション 8

海洋上のエロゾルモデルと航空機 POLDER のシミュレーション画像作成について(15:00-15:50)

川田 剛之・山崎 明宏(金沢工業大学)

リモートセンシングデータによる南米・南パタゴニア氷原の最近の氷河変動(15:25-15:50)

安仁屋 政武(筑波大学地球科学系)・成瀬 廉二(北海道大学低温科学研究所)

複数のリモートセンシングを利用した広域土壌水分情報の抽出(15:50-16:15)

湧上 吾郎・沖 大幹・虫明 功臣(東京大学生産技術研究所)

休憩(16:15-16:25)

セッション 9

衛星情報による地球表面の水分解析のためのサーマルイナナーシャ図化システム(温度解析編:TIMS-1)の構築について[地球観測データによる熱収支情報ベースの構築と利用の研究(5)](16:25-16:50)

宇都宮 陽二郎(国立環境研究所水圏環境部)

気象衛星 NOAA の赤外2波長データを用いた陸域の可降水量の見積り法と事例解析(16:50-17:15)

岩崎 博之(科学技術庁研究員・気象研究所)

SSMI による日本近海における可降水量の推定(17:15-17:40)

榎本 真貴・梶原 康司(千葉大学映像隔測研究センター)・今岡 哲治(宇宙開発事業団)・徳野 正巳(気象衛星センター)・竹内 延夫(千葉大学映像隔測研究センター)

GMS-IR による東南アジアの降雨量推定ー地点別年平均降雨量に基づく地域化ー(17:40-18:05)

竹内 邦良・小泉 栄一(山梨大学)